

2025年度 学科別授業科目一覧表 （実務経験表記あり）

課程： 工業専門課程

学科：

情報処理 3 年制

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
46	国家試験対策Ⅰ	3	30	2	選択	講義	無
60	Java資格対策	3	30	2	必修	講義	有
61	モバイルアプリ開発	3	60	3	必修	実習	有
62	Python	3	60	3	必修	実習	有
63	ローコード開発	3	30	1.5	必修	実習	有
64	UMLⅡ	3	30	2	必修	講義	有
65	データベース設計演習	3	60	3	必修	実習	有
66	CCNA基礎Ⅱ	3	60	3	必修	実習	無
67	LPIC/LinuC対策Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
68	サーバ構築	3	60	3	必修	実習	有
69	AWS演習	3	60	3	必修	実習	有
70	システム設計演習	3	60	3	必修	実習	有
71	AI基礎	3	60	4	必修	講義	有
72	Web詳論	3	60	3	必修	実習	有
73	卒業制作Ⅰ	3	60	3	必修	実習	無
74	卒業制作Ⅱ	3	60	3	必修	実習	無
75	卒業制作Ⅲ	3	60	3	必修	実習	無
76	ITソリューション	3	30	2	必修	講義	有
77	国家試験対策	3	30	2	選択	講義	無
79	表現技法	3	30	2	選択	講義	無
80	企業会計	3	30	2	必修	講義	有
81	体育実習Ⅲ	3	30	1.5	必修	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	国家試験対策 I		産学連携	無	2 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

半期に一度集中講義の形で開講

- ・基本情報技術者対策
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。
- ・ITパスポート対策
eラーニング講座
- ・情報セキュリティマネジメント
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。

【講義概要】

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	★基本情報技術者対策
3	①「基本情報技術者試験の概要」 ・出題傾向と学習方法
4	②「データ構造及びアルゴリズム」 ・擬似言語の解き方、配列操作、探索アルゴリズム
5	③「データ構造及びアルゴリズム」 ・文字列操作、文字列の比較、転記、圧縮 等
6	④「データ構造及びアルゴリズム」 ・データ構造、スタック、木構造 等
7	⑤「データ構造及びアルゴリズム」 ・その他のアルゴリズム 等
8	⑥「情報セキュリティ」 ・暗号化技術、認証技術、不正アクセス対策
9	⑦「情報セキュリティ」 ・ネットワークセキュリティ、情報セキュリティマネジメント、リスク管理
10	⑧本試験の受験、または模擬テスト
11	★ITパスポート対策
12	e-ラーニング講座
13	★情報セキュリティマネジメント
14	過去問題を中心に解説
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門	必修	講義	Java資格対策		小泉 真理子	有	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
Oracle社認定のJavaの資格試験であるJava SE Bronze（1Z0-818）への合格を目指す。 開発職を希望する者や、余力のある者はJava Silverの取得も奨励する。							
【講義概要】							
演習問題を実機で動かし学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	教科書の問題演習						
2	教科書の問題演習						
3	教科書の問題演習						
4	教科書の問題演習						
5	教科書の問題演習						
6	教科書の問題演習						
7	中間試験						
8	教科書の問題演習						
9	教科書の問題演習						
10	教科書の問題演習						
11	教科書の問題演習						
12	教科書の問題演習						
13	教科書の問題演習						
14	教科書の問題演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		50%		50%			100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。							
【教科書・参考文献】							
インプレス社 徹底攻略Java SE Bronze問題集 [1Z0-818] 対応							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	モバイルアプリ開発		高橋 義博	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
これまで複数年に渡りプログラミング言語を学習してきた成果を活かし、アプリ開発を学習していく。 初めてとなるプログラミング言語 Kotlinを学び、一歩ずつアプリ開発を行い、複数のアプリを制作していく。							
【講義概要】							
Kotlinの基礎を学んだ後に、小さなアプリ開発を行い、アプリを完成させる達成感を体験するように授業は進んでいく。教科書を使用するため、教科書は必携すること。（貸出不可）							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Android Studio1について。Kotlinについて。						
2	Kotlinについて。						
3	じゃんけんアプリ作成						
4	フラワーシミュレーター						
5	フラワーシミュレーター						
6	エモーショナル写真集						
7	エモーショナル写真集						
8	早口言葉の達人						
9	早口言葉の達人						
10	いつでもどこでも難読漢字						
11	いつでもどこでも難読漢字						
12	ぜったい挫折しない日記帳						
13	ぜったい挫折しない日記帳						
14	課題レポート						
15	課題レポート						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%		20%	20%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。							
【教科書・参考文献】							
いきなりプログラミング Androidアプリ開発、Sara（著）、 翔泳社							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	Python		吉田 雅裕	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
本講義では、プログラミング言語『Python』の基本文法とその応用技術について学びます。最終的に、Pythonを用いて簡単なアプリ開発をすることができる水準のプログラミング能力を習得することが目標です。							
【講義概要】							
Pythonの変数、条件分岐、関数、モジュール、クラスなどの基本概念を演習形式で学びます。また、高度なプログラミング能力を習得するために必要なアルゴリズムの考え方や、アプリ開発の技法についても学習を行います。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Python基礎（環境構築、変数）						
2	Python基礎（条件分岐）						
3	Python基礎（繰り返し）						
4	Python基礎（関数）						
5	Python基礎（モジュール）						
6	Python基礎（クラスとオブジェクト）						
7	Python応用（アルゴリズム）						
8	Python応用（計算量オーダー）						
9	Python応用（Webシステム①）						
10	Python応用（Webシステム②）						
11	Python応用（Webシステム③）						
12	Python応用（スクレイピング）						
13	Python応用（AIシステム①）						
14	Python応用（AIシステム②）						
15	Python応用（AIシステム③）						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		30%		50%	20%		100%
（補足）		・ 成績は1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。							
【教科書・参考文献】							
特になし							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	ローコード開発	龔 恵美子	有	1.5 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
学校生活における困りごとをアプリケーション開発で解決する。アプリ開発にはノーコード・ローコードツールを利用。要求分析・要件定義の理解、要件を満たすアプリケーション開発と問題解決能力の向上を目指す。							
【講義概要】							
サイボウズ社「kintone」の基本操作を学んだうえで、「就職相談」「課題提出状況管理」「単位・成績管理」などのジャンルから1つ選択し、困っていることを細分化しながらアプリケーション開発でどう解決するかを考える(要求分析)。見えてきた解決策は要件化する(要件定義)。要件を満たすアプリケーションを「kintone」を用いて開発し提出、成果発表を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	DX、ノーコード・ローコード開発とは、kintoneの概要、kintoneへのログイン確認						
2	kintoneを使ったはじめてのアプリ作成、操作体験						
3	Excelデータをインポートして作るアプリ						
4	テーブル機能を利用したアプリ作成						
5	複数アプリの連携演習 1						
6	複数アプリの連携演習 2						
7	グラフと集計機能						
8	プロセス管理（備品購入申請・交通費申請など）						
9	アクセス権の設定、スペース活用（基礎）						
10	要求分析（学校生活における困りごと「就職相談」・「課題提出状況管理」・「単位成績管理」など）						
11	要件定義（概要と構想、要求と必須要件、導入目的と目標）						
12	アプリ作成						
13	アプリ作成						
14	成果発表 1						
15	成果発表 2						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		100%					100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。							
【教科書・参考文献】							
専門学校・大学向け授業用ガイドブック kintone入門編（サイボウズ株式会社）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	講義	UML II		潮 達也	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLでドキュメントを作成出来るようになることで、環境としてはUML統合環境ツールの使用を一人称で活用出来るところを目指します							
【講義概要】							
前年2年生後期からの継続実習でUML統合環境を活用したダイアグラム表記が各表記法で描けかつ実践的な表記を習得する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	シーケンス図 制御構造化表現の表記法 パラレル クリティカル break ref assert seq ignore strict						
2	シーケンス図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説) 演習の解法・解説						
3	コミュニケーション図 ライフライン及び基本表記法 メッセージの種類・表記法 オブジェクトの関連						
4	コミュニケーション図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
5	ステートマシン図 基本的表記法 状態遷移の表記法 状態の階層化 疑似状態 状態再利用 拡張の表記						
6	ステートマシン図 状態遷移とトリガ 状態の階層化 直交状態 各々疑似状態 履歴疑似 選択疑似						
7	中間試験						
8	ステートマシン図 フォークとジョイン疑似 ジャンクション疑似 停止疑似 合成状態						
9	ステートマシン図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
10	アクティビティ図 基本的表記法 アクションとノード 各々のノード 各々のアクション 表記上の注意点						
11	アクティビティ図 パーティション 呼出し振舞アクション 入出力ピン パラメータアクティビティノード						
12	アクティビティ図 演習問題 (基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
13	パッケージ図 基本的表記法 パッケージ図の描き方 階層構造 依存関係 表記上の注意点						
14	パッケージ図 内部要素の切り出し 演習問題 (基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合		75%	10%		15%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
・ IT企業にて開発プロジェクトに従事 (SE) ・ 富士通のシステムソリューション部門でC言語の講義実習(2回) ・ 富士通ユーザーの情報システム部にてC言語・SQLの講義実習(1週間)							
【教科書・参考文献】							
技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	データベース設計演習		龔 恵美子	有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
関係データベースの設計手順を理解し、システムの機能要件をもとにデータベースの設計が行えるようになる。 また、設計内容をER図とデータベース設計仕様書に過不足なく記載できることを目標とする。							
【講義概要】							
家計簿管理やヘアサロンの予約管理を題材に、講師が提示した機能要件に沿って、DBの概念設計、論理設計、物理設計を行う。 設計結果はいずれもER図とデータベース設計仕様書に記載し、設計結果からDBを構築する(XAMPPを利用)。さらに構築したDBを利用する立場でSQLによるデータ操作まで行うことを演習内容とする。ヘアサロンの予約管理DB設計は、グループワークとする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	DB設計とは (DBの役割 DB設計工程 要件)						
2	家計簿管理DB 概念設計 (概念設計とは 概念モデル作成演習)						
3	家計簿管理DB 論理設計 (論理設計とは 論理モデル作成演習)						
4	家計簿管理DB トップダウンアプローチとは ボトムアップアプローチとは 差分分析						
5	家計簿管理DB 物理設計 (物理設計とは 物理モデル作成演習 テーブル設計書作成演習)						
6	家計簿管理DB DB構築 (DDL作成、XAMPPでのDB構築演習)						
7	家計簿管理DB DB利用 (DML作成、XAMPPでのデータ操作演習)						
8	グループワーク ヘアサロン予約管理DB 概念設計						
9	グループワーク ヘアサロン予約管理DB 論理設計						
10	グループワーク ヘアサロン予約管理DB 物理設計						
11	グループワーク ヘアサロン予約管理DB トップダウンアプローチとボトムアップアプローチ 差分分析						
12	グループワーク ヘアサロン予約管理DB DB構築						
13	グループワーク ヘアサロン予約管理DB DB利用						
14	グループワーク 成果物まとめ レポート作成						
15	グループワーク 成果発表						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合		70%			30%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。							
【教科書・参考文献】							
スッキリわかるSQL入門(株式会社フレアリンク)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 前期														
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
専門 必修	実習	CCNA基礎 II	菊池 靖	無	3 単位 60 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																			
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。																			
【講義概要】																			
ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	I の復習																		
2	スイッチとハブの動作の違い、MACアドレスとは、A R P																		
3	スイッチの基本コマンド-ホスト名やパスワード、 I P ・GW設定など																		
4	ポートセキュリティ																		
5	STP																		
6	ここまでの復習																		
7	中間試験																		
8	VLAN1																		
9	VLAN2, VLAN間ルーティング																		
10	ワイルドカードマスク、ACL1																		
11	ACL2																		
12	NAT																		
13	DHCP																		
14	ここまでの復習																		
15	期末試験																		
【成績評価方法】																			
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></table> （補足） ・成績は1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計													
割合	60%			40%		100%													
【教員紹介】																			
大学・専門学校で情報系の授業を30年以上担当。Cisco CCNA インストラクター資格を取得済み。																			
【教科書・参考文献】																			
-																			

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策Ⅱ	鈴木 俊	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
LPIC Lv1-101 試験合格に必要な知識を身につけることを目標とする。							
【講義概要】							
Linux シェルのコマンドライン操作、Linux システム管理（デバイスとファイルシステム、パッケージ管理）の基本を身につけていることを前提として、LPIC Lv1-101 試験の問題対策を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	コマンドラインでの作業						
2	フィルターを使用してのテキストストリーム処理						
3	基本的なファイル管理、ストリーム・パイプ・リダイレクトの使用						
4	プロセスの作成、監視、終了、プロセスの実行優先度の変更						
5	正規表現を使用してのテキストファイル検索						
6	ファイルの基本的な編集						
7	ここまでの復習、中間試験対策						
8	中間試験						
9	デバイスとファイルシステム						
10	ファイルのパーミッションと所有権の管理						
11	システムアーキテクチャ						
12	ハードディスクのレイアウト設計						
13	Debianパッケージ管理、RPMとYUMパッケージ管理						
14	ここまでの復習、期末試験対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%		20%			100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等							
【教科書・参考文献】							
教科書： 翔泳社，中島 能和（著），Linux教科書 LPICレベル1 Version5.0対応							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	サーバ構築	稲垣 高宏	有	3 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
ウィンドウズサーバの基本的な機能を実習を中心に習得する。							
【講義概要】							
基本的な機能を理解しながら、機能別にサーバ構築が使えるようにする。 中間と期末試験は行わない。実習中心とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Windowsサーバとクライアントのインストールと接続確認。						
2	DNSのインストールと設定とテストを行う。						
3	Active Directoryの説明とインストールし、クライアントからのログイン。						
4	グループポリシーとクライアント管理。						
5	ファイルとフォルダのアクセス権と共有。						
6	DHCPの設定とテスト。						
7	まとめ1						
8	Webの仕組。IISのインストールと設定。						
9	ftpのインストールと設定。						
10	xampのインストールと、Apacheの設定してクライアントから接続。						
11	CGIの理解。PHPによる接続。						
12	mysqlの設定と、PHPから接続。						
13	セキュリティの基本的な設定の確認。						
14	まとめ2-1						
15	まとめ2-2						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%			40%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】						メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。	
【教科書・参考文献】						なし	

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	AWS演習	七崎/松田	有	3 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
クラウドコンピューティングで利用されるAWSについて、基礎から学び、自力で基礎的な環境が作れるようになる。							
【講義概要】							
世界で広く利用されているパブリッククラウドサービスやAWSについての基礎知識を学び、実際にAWSの環境にログインして操作しながら、知識や操作方法を習熟する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	システムの基本概念とクラウドの導入、AWSの基礎						
2	AWS基礎、コンピューティングサービスの基礎(EC2)						
3	ネットワークサービスの基礎(VPC)						
4	ネットワークサービスの基礎(VPC)続き						
5	ストレージサービスの基礎(EBS、S3)						
6	データベースサービスの基礎(RDS)						
7	総合演習 1 (基本的な構築の復習)						
8	総合演習 1 解説						
9	セキュリティサービスの基礎(IAM他)						
10	管理サービスの基礎(CloudWatch他)、コンピューティングサービスの応用(Lambda他)						
11	ネットワークサービスの応用(ELB他)、ストレージサービスの応用(EFS他)、データベースサービスの応用(Aurora他)						
12	総合演習 2 (Webシステムの構築)						
13	総合演習 2 解説、その他サービス、AWS認定試験について						
14	まとめ 1						
15	まとめ 2						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。					
【教員紹介】							
松田 金融系SIerでシステム開発を経験。 七崎 メーカーでシステム開発を経験。							
【教科書・参考文献】							
オリジナルテキスト							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 前期														
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数														
専門 必修	実習	システム設計演習	川前 亘	有	3 単位 60 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																			
仕様書を読み、開発対象システムを理解できることを目標とする。 また、業務アプリケーションの開発を通して、オブジェクト指向での開発を体験する。 基本的な開発業務の流れを理解し、就職後の実務に役立てる																			
【講義概要】																			
最初の数週間をかけて、チーム制作に必要な知識を復習する。 その後、チーム制作としてIT企業における業務を体験する。																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	イントロ／【個人演習】開発基礎(パッケージ、リスト)																		
2	【個人】開発基礎(swing)																		
3	【個人】開発基礎(JavaからDBへのアクセス)																		
4	【個人】開発基礎(DAO、DT0)																		
5	【個人】開発基礎(DAO、DT0)② / 仕様インプット(概要理解/要件定義/方式設計)																		
6	【個人】設計演習(シーケンス図/クラス図)																		
7	【グループ】チーム編成、作業分担、開発演習(コーディング)																		
8	【グループ】コーディング／試験仕様書作成／内部レビュー																		
9	【グループ】コーディング／試験仕様書作成／内部レビュー																		
10	【グループ】単体試験実施																		
11	【グループ】単体試験実施／障害対応																		
12	【グループ】結合・受入試験実施																		
13	【グループ】結合・受入試験実施／障害対応																		
14	まとめ																		
15	まとめ																		
【成績評価方法】																			
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（出席等）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>10%</td><td>20%</td><td>100%</td></tr></table> (補足) ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席等）	合計	割合	70%			10%	20%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席等）	合計													
割合	70%			10%	20%	100%													
【教員紹介】																			
大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有。基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有																			
【教科書・参考文献】																			
インフォテック・サーブ社 Javaシステム開発演習教材																			

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 後期														
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
専門 必修	講義	AI基礎		吉田 雅裕	有	4 単位 60 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																				
情報社会が抱える諸問題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築するために有用なデータマイニングの基礎技術の習得を目指す。実社会のビッグデータを対象に、データクレンジングの方法やAIの適用方法を学習し、データマイニングによって得られる結果を正しく理解するための論理的思考力を身に着ける。例として、身近な医療や保健のデータ、電子メールのデータ、スーパーマーケットの商品販売履歴などのデータを学習に利用する。日ごろ直感的に感じていることと、データマイニングでわかることを比較し、データマイニングに関するより深い理解を得る。 Pythonを使って、実際にデータマイニングを行うための具体的な方法論を習得する。Pythonを使って実際のビッグデータに対して基礎的な分析ができるようになる。データ分析結果の正しさを判断し、データサイエンスで論理的な主張を行えるようになる。																				
【講義概要】																				
膨大な非構造化データ、いわゆるビッグデータから、何らかの知見を導き出すデータマイニングについて学修する。連関規則、決定木、クラスタ分析、回帰分析、自己組織化マップ、ニューラルネットなどについて学び、ツールを用いることによっていわゆるAI（弱いAI）を活用することができる水準の技術を獲得する。機械学習についても、教師あり学習、教師なし学習、強化学習の特徴を把握し、自らが行う問題解決に際して、適切な方法を選択できる力量を養う。本講義では、プログラミング言語『Python』を用いたデータマイニングを行う。演習を中心とした授業内容により、データマイニングとAIの基礎技術を学習する。																				
回	授業計画及び学習の内容																			
1	イントロダクション																			
2	Pythonプログラミング																			
3	データ収集																			
4	データ前処理																			
5	確率統計																			
6	統計的検定																			
7	A/Bテスト																			
8	アルゴリズム																			
9	回帰																			
10	分類																			
11	クラスタリング																			
12	レコメンド																			
13	時系列分析、自然言語処理																			
14	画像分析																			
15	データ分析コンペ																			
【成績評価方法】																				
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td></td><td></td><td>100%</td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></table> （補足） ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。							評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合			100%			100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計														
割合			100%			100%														
【教員紹介】																				
1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。																				
【教科書・参考文献】																				
吉田雅裕，『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』，技術評論社，2023																				

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	Web詳論	榎本 博文	有	3 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報処理科 3 年制として、高度情報化社会に対応するITエンジニアの養成を念頭に講義を行う。 溢れる情報の中から「本質」を見抜くためには、基本的なIT知識は勿論、幅広い知識が重要となる。							
【講義概要】							
環境・技術・ビジネスの変化をテーマに、文字、画像、音声、動画などの「コンテンツ制作」「Webサイト構築」（正しい情報発信）を通じITやマルチメディア全般に関わる幅広い内容を学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	コミュニケーションツールとしてのインターネットの使い方。SDGsとGAFAMIについて						
2	インターネットの歴史とWWWの仕組み。WebApiの実用方法について。						
3	Illustrator Photoshopなどのグラフィック系ソフト演習 UI（User Interface） / UX（User Experience）						
4	インターネットビジネス1 インターネットの市場価値と影響力。日本市場と世界市場の違い。						
5	プロジェクトマネジメントの必要性。スタッフの役割と管理。リソース管理・スケジュール管理。						
6	中間試験前のまとめ講義。試験直前対策。						
7	中間試験						
8	ワークフローと現状分析。webサイトの狙いとゴール設定。コンテンツの企画。公開と運用。						
9	情報アーキテクチャ設計、効果検証と指標。						
10	Webコンテンツを構成する素材、素材の集め方、サーチ力とは。						
11	伝わるデザインとは？ウェブアクセシビリティーの概要。ターゲット、ペルソナを考える。						
12	Webマーケティングの全体像。インターネット広告の形式の違い。						
13	SEO、LP0について、情報の共有、ネットビジネス、セキュリティ対策。						
14	期末試験前のまとめ講義。試験直前対策。						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		40%		40%	20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門	必修	実習	卒業制作 I		井元和彦・小泉真理子	無	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】								
・ 2 年間学んだ技術や知識を生かし、各自で企画した内容で制作、研究を行う。 ・ 各自のスキルアップを目指す。 ・ 後期卒業制作の下地作りとして役立つようにする…スケジュール感やテーマなど。								
【講義概要】								
・ テーマはITに即したもの、またはITを活用するものであれば何でも良い。 ・ 良い作品作りはもちろん大事だが、スケジュール管理やグループ作業で必要なことなど後期卒業制作のための経験作りをきちんと行う。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	テーマ決定、スケジュール作成、企画書作成							
2	制作							
3	制作							
4	制作							
5	制作							
6	制作							
7	中間発表							
8	レビュー							
9	制作							
10	制作							
11	制作							
12	制作							
13	最終発表							
14	提出資料まとめ							
15	振り返り							
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ 発表 ）	合計	
割合		70%			20%	10%	100%	
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】								
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当								
【教科書・参考文献】								
-								

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	卒業制作Ⅱ	井元和彦・ 小泉真理子	無	3 単位 60 時間		
		卒業制作Ⅲ		有	3 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ 学生生活全体を通して学んだ技術や知識、経験を生かし、各自で企画した内容で制作、研究を行う。 ・ 各自のスキルアップを目指す。							
【講義概要】							
・ テーマはITに即したものの、またはITを活用するものであれば何でも良い。 ・ 良い作品作りはもちろん大事だが、スケジュール管理やグループ作業で必要なことなど 進級制作や卒業制作Ⅰで積み上げた経験を活かすこと。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	テーマ決定、スケジュール作成、企画書作成						
2	制作						
3	制作						
4	制作						
5	制作						
6	制作						
7	中間発表						
8	レビュー						
9	制作						
10	制作						
11	制作						
12	制作						
13	最終発表						
14	提出資料まとめ						
15	振り返り						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ 発表 ）	合計
割合		70%			20%	10%	100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
○井元 本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当 ○小泉 SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	卒業制作Ⅲ		井元和彦・ 小泉真理子	無	3 単位 60 時間	
		卒業制作Ⅱ			有	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
・ 学生生活全体を通して学んだ技術や知識、経験を生かし、各自で企画した内容で制作、研究を行う。 ・ 各自のスキルアップを目指す。							
【講義概要】							
・ テーマはITに即したものの、またはITを活用するものであれば何でも良い。 ・ 良い作品作りはもちろん大事だが、スケジュール管理やグループ作業で必要なことなど 進級制作や卒業制作Ⅰで積み上げた経験を活かすこと。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	テーマ決定、スケジュール作成、企画書作成						
2	制作						
3	制作						
4	制作						
5	制作						
6	制作						
7	中間発表						
8	レビュー						
9	制作						
10	制作						
11	制作						
12	制作						
13	最終発表						
14	提出資料まとめ						
15	振り返り						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ 発表 ）	合計
割合		70%			20%	10%	100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
○井元 本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当 ○小泉 SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制		2025		3 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
基礎専門 必修	講義	ITソリューション		小泉 真理子	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
問題を解決するためにITで何ができるか考える力を身につける。							
【講義概要】							
「ITを活用した問題解決」をテーマとし、顧客が抱える課題に対して解決策の提案を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ソリューションとは						
2	グループワーク						
3	グループワーク						
4	グループワーク						
5	発表						
6	グループワーク						
7	グループワーク						
8	グループワーク						
9	発表						
10	グループワーク						
11	グループワーク						
12	グループワーク						
13	発表						
14	まとめ1						
15	まとめ2						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		50%			50%		100%
(補足)		・ レポートや自習課題は必ず提出すること ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験など。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 通年														
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
専門基礎 選択	講義	国家試験対策	産学連携	無	2 単位 30 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																			
半期に一度集中講義の形で開講 ・ 基本情報技術者対策 社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。 ・ ITパスポート対策 e-ラーニング講座 ・ 情報セキュリティマネジメント 社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。																			
【講義概要】																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	★基本情報技術者対策 ①「基本情報技術者試験の概要」 ・ 出題傾向と学習方法 ②「データ構造及びアルゴリズム」 ・ 擬似言語の解き方、配列操作、探索アルゴリズム ③「データ構造及びアルゴリズム」 ・ 文字列操作、文字列の比較、転記、圧縮 等 ④「データ構造及びアルゴリズム」 ・ データ構造、スタック、木構造 等 ⑤「データ構造及びアルゴリズム」 ・ その他のアルゴリズム 等 ⑥「情報セキュリティ」 ・ 暗号化技術、認証技術、不正アクセス対策 ⑦「情報セキュリティ」 ・ ネットワークセキュリティ、情報セキュリティマネジメント、リスク管理 ⑧本試験の受験、または模擬テスト ★ITパスポート対策 e-ラーニング講座 ★情報セキュリティマネジメント 過去問題を中心に解説																		
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
【成績評価方法】																			
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td><td></td><td>100%</td></tr></table> (補足) ・ 成績は100点を最高とし、60点を以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合				100%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計													
割合				100%		100%													
【教員紹介】																			
【教科書・参考文献】																			

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 選択	講義	表現技法	唐戸 民雄	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
前半では日本語についての再確認をする。些細なことでもかまわないので、自分たちの言葉についての意識を持って欲しい。後半は、社会人として仕事していく上での基本、ビジネス文書ついて学ぶ。							
【講義概要】							
普段使っている日本語を見直す。また、ビジネスの現場での文書の意義、働き、流れ等を確認する。社会人としての基本を身につける。毎回、日本語の語彙に関する確認の小テストを行う。その他、適宜、講義内容に関連する新たな話題を紹介することもある。大きくシラバスから逸脱することはないが、内容が少し変わることもある。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	表現とは何か						
2	表現本能 表現行為 言語について						
3	日本語について 1 他言語との比較 日本語の特徴 語彙の面から①						
4	日本語の特徴 語彙の面から② 表記の面から など						
5	日本語の文体 音声言語と文字言語の相違						
6	文章の構成 横書き原稿用紙の使い方						
7	読点の付け方 中間試験対策						
8	中間試験						
9	ビジネス文書 概説 問題演習						
10	ビジネス文書 社内文書① 問題演習						
11	ビジネス文書 社内文書② 問題演習						
12	ビジネス文書 社外文書① 問題演習						
13	ビジネス文書 社外文書② 問題演習						
14	ビジネス文書 まとめ 確認演習問題						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
授業時にプリントを配布する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	講義	企業会計	木村和也	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
財務と会計は企業にとって非常に重要です。経営者が自社の経営判断を行ったり、第三者が企業の状況を分析するうえで必要となる知識を簿記や財務諸表の分析を通して学んでいきます。							
【講義概要】							
本コースでは、財務と会計に必要な専門知識である財務諸表から企業分析ができる能力を学んでいきます。会計や財務に関する正しい知識やスキルは、企業やビジネスにとって必要な概念であると同時に、これらを学ぶことはみなさんの人生にとっても有意義なものになるでしょう。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	オリエンテーション						
2	財務諸表とは						
3	貸借対照表①						
4	貸借対照表②						
5	貸借対照表③						
6	損益計算書①						
7	中間試験						
8	損益計算書②						
9	キャッシュ・フロー計算書①						
10	キャッシュ・フロー計算書②						
11	財務諸表分析①						
12	財務諸表分析②						
13	財務諸表分析③						
14	財務諸表分析（演習）						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・ 成績は1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
税理士・行政書士・介護福祉士の資格を保有。現在は、税理士事務所を立ち上げて活動中。企業経営実績や介護福祉事業所の運営経験などがあり、これらを活かした「実務に役立つ授業」をしていきたいと思っています。							
【教科書・参考文献】							
ビジネス会計検定試験公式テキスト3級							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科 3 年制	2025		3 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅲ	情報処理科 3 年制 担当教員	無	1.5 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。						
【講義概要】						
この授業は、学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	学園祭準備（1 日目、2 日目）					
2						
3						
4	学園祭（1 日目）					
5						
6						
7	学園祭（2 日目）、後片づけ					
8						
9						
10	-					
11						
12						
13	-					
14						
15						
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 （補足）						-
・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】						
-						
【教科書・参考文献】						
-						